

学校法人内田学園だより

～第四号～

平成29年7月20日
発行人 内田学園
内田文江
編集 編集委員会
発行所 厚木市七沢
433-1
電話 046-270-6123



『内田文江・芳江両先生の記念碑除幕と 今年のファミリーフェスタ「おみこし」紹介から』

学校法人内田学園 理事長
(兼)七沢幼稚園長 小島富司

♪びわは優しい木の実だから♪だっこし合って熟れている
♪うすいにじあるろばさんの♪おみこし葉のかけに♪
先日7月15日(土)の昼下がり、七沢幼稚園園庭は、幼稚園
児たちと七沢希望の丘初等学校の児童たちの爽やかな歌声に
包まれました。30℃を超える真夏日ではありましたが、園

庭南端には桜の古木が茂り、緑豊かで木漏れ日も美しく、その傍らに流れる湧水池からの小川の涼しさもあり、心地よい時間が流れました。実はこの日、恒例の夏まつり行事である『内田学園ファミリーフェスタ』の開会に先がけて、内田学園の創立者である『内田文江・芳江』両先生の幼児教育のご功績を讃え顕彰する記念碑の除幕式を執り行いました。

その碑文には、「自然の恵みに感謝し 人々とともに生きる 人間形成を目的とする」と、刻まれております。これは、正に両先生の長い教育実践を通して培ってこられた幼児教育の営みであり、人づくりの願いそのものが語られており、七沢幼稚園及び七沢希望の丘初等学校の教育理念に合致するものとして、これからも継承していかなければならないと考えます。そして、私たちは、子どもたちも保護者の皆さんも卒園(業)生の皆さん方も含めて、一同記念碑の前に相集うことができました。今改めて思うことは、内田学園の礎を築いてこられたご功績を讃えつつ、これを両先生への「感謝の碑」と置き換えたいと考えます。さらに、これからの内田学園の未来を展望できる新しい時代の創造的な学園づくりを目指していく決意を新たにしました次第です。

今年のファミリーフェスタでは、お神輿が幼稚園4基・初等学校4基で合わせて8基の神輿の練り歩きとなりました。おまつり当日、園庭に勢ぞろいした8基の神輿には、みな立派な名前とテーマ性があり、そこには幼稚園も初等学校も保育や授業時間を通して神輿づくりにこだわって取り組んできた表現性が満載。まずは、幼稚園の青組(年長)は、七沢幼稚園のお誕生日の発想から生まれた『38/フルーツケーキみこし』、ピンク組(年中)は6月の園庭で楽しんだホタルをヒントに『ホタルみこし』、黄色組(年少)は、『おさんぽおみこし』と題して、お散歩から見つけたタンポポの花にイチゴとたくさんのありんこを表現したもの。母と子の庭は、『ふうせんおみこし』。

初等学校の児童たちは、図画工作科と「希望の時間」による見事な創作活動から生まれた造形物であって、春夏秋冬の全校縦割り生活グループで取り組んだもの。春は「森のマーチ」、夏は「海の鳥」、秋は「亀&BBQ」、冬は「初等学校と鳥たち」と言うように、みな初等学校の丘周辺の身近な自然環境等から題材を創造したものでありました。

幼稚園のテーマ活動「おまつり」(資料)では、自然を取り入れ皆がおみこしを協力して作り上げる喜びを味わいながら、活動を展開することをテーマ設定の理由の一つとしている。そして、保育者の指導上の留意点として、①いろいろなおまつりがそれぞれ意味を持っていることを知り、自分たちのおまつりの意味を意識させる。(幼稚園の創立38周年の誕生を祝う気持ちなど)②子どもの生活の中から題材をとるようにする。③子どもの参加できる部分を多くするよう心がける。④おみこしのテーマを話し合っ決めていくことができるように、子ども自身の意見を尊重し、内容を考えた選択ができるように声を掛ける、等々である。なお、初等学校の場合は児童の発達段階に応じたテーマ学習となり、児童の学習活動なり指導者の指導上の留意点も幼稚園のそれとは当然違いも出てまいります。

最後に、園庭からのおみこしの宮出しと宮入りは、笛と拍子木の音と共に特に盛り上がりを見せた一場面となりました。保護者によるひまわり会とエスポワールの皆さまと、卒園(業)生と同窓会の皆さま方、そして、地域からご協力をいただいた皆さま方、誠にありがとうございました。



目次

理事長挨拶	1
「内田文江・芳江両先生の記念碑除幕と今年のファミリーフェスタのおみこし紹介から」	
校長挨拶	2
「七沢里山サミット」	
幼初連携	3
「田植え」 「ファミリーフェスタ」	
七沢幼稚園	4
「今年も僕たち私たちの畑は元気です。」	
七沢希望の丘初等学校	5
「1学期の様子」	
法人本部	6
「記念碑除幕式」 「ファミリーフェスタについて」 「ご寄付の報告」 「パラオの子どもたち」	

『七沢里山サミット』

七沢希望の丘初等学校長 島根照夫



一学期の終わりも近づいてきた7月3日（月）に七沢里山サミットが行われました。平日にもかかわらず、保護者の方たちの参加、外部の方たちの参加があり関心の高さを感じました。

テーマ学習希望「ともにくらす」では、1/2年生、3/4年生、5/6年生に分かれ、身の回りの自然に日頃から着目し、疑問に思ったことや知りたいと思ったことから課題を設定し、近くにある神奈川自然保全センターなどに行って質問したりして自然観察研究を行っています。今回も昨年同様、1部ではプレゼンテーション能力を高める場として「研究発表」第2部では「皆様との意見交換」を通し、自然の豊かさや偉大さに気付かせ、自然への感謝の気持ち、畏敬の念を育むことをねらいとしています。

先日、七沢希望の丘初等学校の平素からの取り組みや神奈川県野生生物保護モデル校としての活動が評価され、日本野鳥の会神奈川支部より絵画の寄贈がありました。本校のこのような教育活動が外部から評価を受けることはとても嬉しく、また感謝でもあります。

児童は、「希望」の8時間を使いグループでまとめました。もちろん国語や社会などの時間もまともに使い、他教科との横断的関わりも意識しています。低学年、中学年、高学年のそれぞれのプレゼンを聞いていると学年ごとに発表や内容に質の高まりを見ることが出来ます。本校の子どもたちは自然が景色ではなく身近な物になっているのでしょうか。自然が身近にあるという恵まれた環境で、小さな花の変化、虫たちの声、鳥たちの囀り、畑の獣害など気づきの場面に恵まれています。単なる景色でなく気づきの場面として捉えられているのでしょうか。自然豊かな環境で気づきの力が涵養されることで隣人になれる。隣人になることで隣の人に手をさしのべることが出来る優しい人になれるのです。

七沢希望の丘初等学校で身に付けさせたい力の一つにプレゼンテーション能力があります。iPadを使ったステージ発表も力をつける場面の一つですが、ワールドカフェ方式で大人たちと自由に会話をしている場面では、実に豊かに楽しそうに会話をしています。生き生きしている姿が見られ、自分らしさを表現しているなあ嬉しくなります。らしさを表現できるって素晴らしいですね。

今回の里山サミットの交流会が動機付けになり、夏休みの自由研究に繋がり、質の高まる発表になるように期待しています。



『ウグイスは雑食で、小型の昆虫、幼虫、クモ類などを捕食するよ。』
『えっ、そうなの！！なるほど。』

『えっ、カタツムリどこで見つけたの？』



『アジサイの葉の上で。学校に来るとき。』

幼初連携

♪ 田植え ♪

6月22日(木) 毎年恒例の田植えを開催しました。
保護者の皆様のご協力、ありがとうございました。



♪ 内田学園ファミリーフェスタ 2017 ♪

7月15日(土) お天気にも恵まれ「ファミリーフェスタ」を開催しました。今年はおみこしを8基作成し、とても賑やかなおまつりとなりました。みんな写っているかな???



おみこし
宮出しの
前に
『ハイ・
ポーズ』



今年も僕たち私たちの畑は元気です。



こんな大きなジャガイモが採れたよ。



今日の給食に入れてください。
楽しみだね。



他にもこんなにたくさん収穫できたね・・・

ピーマン、キュウリ、ブチトマト
早くみんなで食べたいね。



サツマイモの苗植え

今年は初等学校の畑でサツマイモの苗を植えました。秋には“ちびいもちゃん”“でぶいもちゃん”ができるといいね。秋の収穫が楽しみだね。

七沢希望の丘初等学校



～1学期の様子～

《キャンプ》

これまでとは場所を変え、七沢自然ふれあいセンターでの宿泊。



鐘ヶ嶽ハイキング

キャンプファイヤー！

夕食ピザ作り

すがすがしい朝

初等学校で
バーベキュー

新たな挑戦

《水泳学習》

水に対して楽しく安全に向き合えることを中心に学びました。



本年度は伊勢原スイミングスクールにて行いました。

《テーマ学習 希望「ともにくらす」》



「日本野鳥の会より
絵画の寄贈」

絵を目にするとうず
かさず「これはカ
ワセミ、メジロ、
アカケラ・・・」
次々名をあげる
子ども達。鳥研究
2年目の3・4年生



「草花遊び」

「身近な？を
考える」



《外国語授業参観》

本校で行われる学習を理解していただくため、概要を説明させていただき、4つのクラスを全て参観していただきました。



アドバンス



4.5年生



3年生



1.2年生

法人本部

～内田学園創立40周年記念碑除幕式～

7月15日、内田学園ファミリーフェスタ2017の前に内田文江学園長先生、並びに、内田芳江前園長先生の教育実績を讃える顕彰記念碑の除幕式を七沢幼稚園・七沢希望の丘初等学校の代表の子

どもたちにより、厳かに執り行われました。



～内田学園ファミリーフェスタ2017について～

去る7月15日に内田学園ファミリーフェスタ2017を無事開催することができました。これもひとえに保護者の皆さまのご協力の賜物だと心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

学校法人内田学園 理事長 小島富司
学園長 内田文江
七沢希望の丘初等学校長 島根照夫
学校法人内田学園 教職員一同
内田学園ファミリーフェスタ2017実行委員会

～ご寄付の報告～

- ひまわり会/エスポワール (バザー売上金) 111,410円
- ひまわり会 (フェスタより) 10,000円
- 七沢郵便局長 石坂祐一様 5,000円

☆いただきましたご寄付は内田学園の教育に関わる事業に大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

～講演会『パラオのこどもたち』～

7月19日、昨年度まで青年海外協力隊としてパラオのアイメリーク小学校に赴任していた初等学校、尾形理教諭の講演会が幼稚園に於いて行われました。講演の前にはパラオのデザートフライドバナナを試食し、和やかな雰囲気の中、パラオの様々な話を聞き、とても楽しい時間を過ごすことができました。



七沢幼稚園 住所:厚木市七沢590 TEL046-247-3175 FAX046-247-3139
七沢希望の丘初等学校 住所:厚木市七沢433-1 TEL046-270-6123 FAX046-270-6122